



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社エクセル

上場取引所 東

コード番号 7591 URL <http://www.excelweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大滝 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員グループ財務本部長 (氏名) 谷村 偉作

TEL 03-5733-8404

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	37,378	23.1	640		697		1,107	
2019年3月期第3四半期	48,580	38.2	86	92.1	3		75	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 233百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 481百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	127.85	
2019年3月期第3四半期	8.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	36,062	24,085	66.8	2,779.12
2019年3月期	43,739	24,611	56.3	2,839.99

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 24,083百万円 2019年3月期 24,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		16.00	26.00
2020年3月期		18.00			
2020年3月期(予想)					18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,000	15.6	500		535		1,230	116.0	141.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	9,086,755 株	2019年3月期	9,086,755 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	420,710 株	2019年3月期	420,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,666,097 株	2019年3月期3Q	8,666,147 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期のわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善を背景に、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、米国は底堅く推移したものの、英国のEU離脱、保護主義的な通商政策を背景とした貿易摩擦等の長期化、米国とイランの対立激化等、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループの属する電子部品業界においては、AIやIoT関連分野への需要の拡大が見込まれるものの、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速等を背景に先行きは一段と不安定な状態が続いております。

当社グループにおいては、ユーザーオリエンテッドな販売促進活動に加え、国内構造改革・海外構造改革を通じた営業体制の強化・効率化により、現在手掛けている新規案件を着実に取り組むことで、第7次中期経営計画の達成に向け、全社一丸となって取り組んでおります。当連結会計年度では、中国市場におけるスマートフォン（特にハイエンド機種）の販売が低調に推移した他、主要仕入先の生産調整等の影響により、当初見込んでいた大型のビジネスが大幅縮小となったため、売上高は373億78百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

また、各品目別の概況は次のとおりであります。

- | | |
|------------|--|
| (液晶デバイス) | 国内市場におけるアミューズメント向け液晶デバイスの販売が増加したものの、海外市場におけるスマートフォン（特にハイエンド機種）の販売が低調に推移した他、主要仕入先の生産調整等の影響により、当初見込んでいた大型のビジネスが大幅縮小となったため、売上高は167億9百万円（前年同期比43.9%減）となりました。 |
| (半導体・集積回路) | 国内市場における半導体ビジネスの販売が増加し、海外市場においては前期に立ち上げた半導体ビジネスに減速感が見られましたが、PC・タブレット向けを中心とする液晶用ドライバIC等の販売が復調したため、売上高は68億1百万円（前年同期比31.2%増）となりました。 |
| (電子部品・その他) | 国内市場におけるACアダプタ等の販売が減少したものの、海外市場においてはタッチパネル等の販売が堅調に推移したことから、売上高は138億68百万円（前年同期比2.0%増）となりました。 |

利益面では、売上原価353億96百万円を控除した売上総利益は19億82百万円（前年同期比35.7%減）となり、人件費14億47百万円を中心とする販売費及び一般管理費は26億23百万円であり、結果営業損失は6億40百万円となりました。

営業外収益及び費用では受取配当金65百万円、仕入割引22百万円、支払利息1億42百万円等を計上した結果、経常利益段階では6億97百万円の損失となっております。

特別利益及び損失では、貸倒引当金戻入額8億11百万円、投資有価証券売却益16億66百万円、受取遅延損害金24百万円及び減損損失19百万円、投資有価証券評価損13百万円、経営統合関連費用1億52百万円等を計上した結果、税金等調整前四半期純利益は16億19百万円となり、税金費用等を控除して親会社株主に帰属する四半期純利益は11億7百万円となっております。尚、貸倒引当金戻入額8億11百万円の特別利益計上につきましては、連結子会社である卓華電子（香港）有限公司が2015年3月期連結決算においてWINTEK社に対する破産更生債権等について計上した貸倒引当金に係るものであります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本ではアミューズメント向け液晶デバイスの販売が増加したものの、サイネージ向け液晶デバイスやACアダプタ等の販売が減少したことにより売上高は109億57百万円（前年同期比11.2%減）となりました。アジアにおいては中国市場におけるスマートフォン（特にハイエンド機種）の販売が低調に推移した他、主要仕入先の生産調整等の影響により、当初見込んでいた大型のビジネスが大幅縮小となったため、売上高は264億21百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の連結総資産は、360億62百万円（前連結会計年度末対比76億77百万円、17.6%の減少）となりました。

資産では、受取手形及び売掛金103億68百万円を中心とする流動資産が310億45百万円で、総資産の86.1%を占め、固定資産50億16百万円が残りの13.9%を占めています。

一方、負債合計119億76百万円（前連結会計年度末対比71億51百万円、37.4%の減少）のうちでは支払手形及び買掛金51億94百万円と短期借入金52億45百万円がその主なものとなっております。

純資産の部では、純資産合計は240億85百万円、前連結会計年度末対比5億25百万円、2.1%の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月1日及び12月9日に発表した内容をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,009	11,695
受取手形及び売掛金	15,641	10,368
電子記録債権	1,206	1,343
商品及び製品	10,465	7,217
その他	898	494
貸倒引当金	△0	△73
流動資産合計	35,221	31,045
固定資産		
有形固定資産	1,196	1,125
無形固定資産	57	86
投資その他の資産		
破産更生債権等	13,767	11,240
その他	5,100	3,023
貸倒引当金	△11,604	△10,458
投資その他の資産合計	7,263	3,804
固定資産合計	8,518	5,016
資産合計	43,739	36,062
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,025	5,194
短期借入金	10,231	5,245
未払法人税等	18	307
賞与引当金	122	86
早期退職費用引当金	12	-
その他	1,671	611
流動負債合計	18,083	11,445
固定負債		
退職給付に係る負債	234	228
資産除去債務	0	0
その他	809	302
固定負債合計	1,044	531
負債合計	19,127	11,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,086	3,086
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	17,632	18,446
自己株式	△571	△571
株主資本合計	22,798	23,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,815	660
為替換算調整勘定	6	△179
退職給付に係る調整累計額	△8	△8
その他の包括利益累計額合計	1,813	472
非支配株主持分	-	1
純資産合計	24,611	24,085
負債純資産合計	43,739	36,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	48,580	37,378
売上原価	45,495	35,396
売上総利益	3,084	1,982
販売費及び一般管理費	2,998	2,623
営業利益又は営業損失(△)	86	△640
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	93	65
仕入割引	18	22
その他	28	23
営業外収益合計	158	128
営業外費用		
支払利息	192	142
為替差損	53	36
その他	2	5
営業外費用合計	248	184
経常損失(△)	△3	△697
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	811
投資有価証券売却益	-	1,666
受取遅延損害金	-	24
特別利益合計	-	2,502
特別損失		
減損損失	-	19
投資有価証券評価損	-	13
経営統合関連費用	-	152
早期退職費用	135	-
特別損失合計	135	185
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△139	1,619
法人税、住民税及び事業税	56	351
法人税等調整額	△92	160
法人税等合計	△36	512
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103	1,107
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△27	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△75	1,107

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103	1,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△741	△1,155
為替換算調整勘定	361	△185
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	△378	△1,340
四半期包括利益	△481	△233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△460	△233
非支配株主に係る四半期包括利益	△21	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,336	35,515	47,851	728	48,580	-	48,580
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,138	778	2,917	-	2,917	△2,917	-
計	14,474	36,294	50,768	728	51,497	△2,917	48,580
セグメント利益又は 損失(△)	△245	298	53	11	64	21	86

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額21百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,957	26,421	37,378	-	37,378	-	37,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,706	876	2,582	-	2,582	△2,582	-
計	12,664	27,297	39,961	-	39,961	△2,582	37,378
セグメント損失 (△)	△534	△151	△685	-	△685	44	△640

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額44百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、「日本」セグメントにおいて、19百万円の減損損失を計上しております。